

第二回 上野松楓会定期能楽会

令和八年八月八日(土) 午後一時始

上野 朝義

能

巴

福王 知登  
佐々木 秀

辻 芳昭  
久田舜一郎  
貞光 訓義

間 善竹 隆司

後見

上野 朝彦  
野村 昌司

地謡

伊原 昇  
上野 雄介  
前田飛南子  
上野 亮二  
赤松 禎友  
上野 雄三

〈休憩 十五分〉

仕舞

賀茂 上野 朝彦  
雲林院 篠崎 珠樹  
山 焼 上野 雄介

地謡

伊原 昇  
前田飛南子  
上野 雄三  
田口 亮二

狂言

腹不立

善竹彌五郎

小西 玲央  
上野 良介

後見 上吉川 徹

能

渡邊 瑞子  
赤井きよ子

葵

上 梓之出

喜多 雅人  
廣谷 和夫  
間 善竹 隆平

守家 由訓  
上田 慎也  
上田 敦史  
赤井 啓三

後見

野村 昌司  
上野 朝義

地謡

篠崎 珠樹  
伊原 昇  
上野 朝彦  
赤松 禎友

附祝言 終演予定十六時過ぎ

『巴』 木曾出身の僧たち(ワキ・ワキツレ)が粟津ヶ原を訪れると、松蔭に祀られた神の前で涙を流す一人の女(前シテ)がいた。僧が声をかけると、女は、ここに祀られているのは木曾義仲であると教え、自分はある人物の幽霊であると明かして消え失せる。

僧が申していると、先ほどの女が鎧兜を身にまとった姿で現れた。女は、義仲に仕えた女武者で義仲と最期を一緒に出来なかった巴御前の幽霊(後シテ)であった。運尽き、重傷を負う義仲にここまで供をしてきたが一緒に自害することを許されず折しも攻め寄せて来た敵と戦ううち、義仲は自害してしまい、涙ながらに、形見を持ち別れを告げ、武装を解き、一人落ちのびた事を語り、この執心を晴らしてほしいと頼みつつ、消え失せる。

『腹不立』二人の男は街道へ出て相應しい出家を探すことにする。そこへ出家したばかりの僧が通りかかり、二人は僧に名を問うと、まだ名前を決めていなかった僧は「腹立てずの正直坊」だとまかせを言う。生まれてこの方、腹を立てたことがないという僧に二人は悪戯心を起こし…。

『葵 上梓之出』光源氏の正妻葵の上は、物の怪に憑かれて病床にある。照日巫女(ツレ)に占わせると、物の怪の正体は六条御息所の生霊(前シテ)であった。葵の上との車争いで恥辱をうけた御息所は、生霊となって従者の青女房とともに葵の上の枕元に立ち、後妻打ちの拳に出て、連れ去ろうとする。横川の小型(ワキ)が呼ばれ折り返し始めると、悪鬼と化した御息所(後シテ)は抵抗するが、祈り伏せられ、ついには成仏する。

◆「巴・葵上」の演目解説講座

定期能をより楽しむために

「巴」 5月22日(金)

「葵上」 6月19日(金)

昼の部 午後1時〜午後2時半  
夜の部 午後6時〜午後7時半

○料金 2,000円

○会場 朝陽会館 大阪市北区天神橋一の一七の八

○お問い合わせ先

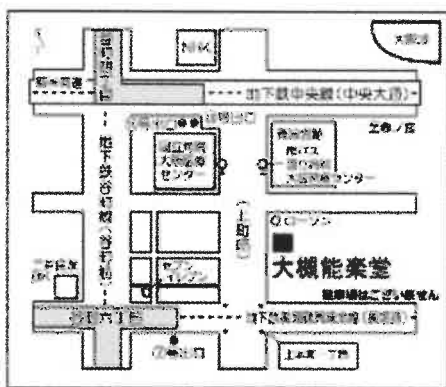
朝陽会館 06(6357)0844

info@choyokaikan.com

【第3回上野松楓会定期能楽会】

令和8年10月24日(土) 午後1時始

能 杜若 伊原 昇  
能 寝音曲 茂山忠三郎  
能 狂言 上野 朝彦  
能 小鍛冶黒頭



○大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」下車、  
⑩番出口南へ約300mまたは谷町線・鶴見緑地線「谷町六丁目」下車⑦番出口北に360m  
○市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ ※大阪駅前から62系統「住吉車庫前」行乗車

※本公演における許可のない写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は固くお断り致します。  
・発熱や咳など、風邪の症状がみられる場合はご来場をお控えいただきますようお願い致します。